

ケーススタディ

# DrillDocs、KeeperPAMで 世界の海洋掘削業務と 24時間365日のエンジニア サポートアクセスを保護



## 背景

DrillDocsは、海洋掘削用途向けのコンピュータビジョンソフトウェアを提供するシードステージの技術系スタートアップ企業です。同社のプラットフォームは掘削プロセスをリアルタイムで監視し、岩盤切削物を分析して、オペレーターが海洋掘削リグでの安全性、効率性、パフォーマンスを向上させる支援をします。

### 業種

石油・ガス

### 従業員数

20名以上

### ソリューション

KeeperPAM

Keeperシークレットマネージャー

## 課題

DrillDocsが創業時のエンジニアリングチームから分散型の本番運用サポート組織へと成長するにつれ、次第にアクセス管理が複雑化していきました。初期段階では、小規模な社内チームが開発とサポートの両方を担当し、認証情報は安全に保管され、アクセスは、略式で手動プロセスであるものの、厳格に管理されていました。しかし顧客需要が増え、システムが国際的に展開されるにつれて、DrillDocsは夜間サポート体制を整え、真の24時間365日運用準備態勢を確保するために、外部のエンジニアリングサービス企業を導入しました。組織では、デプロイメント時の認証情報取得を自動化するために、Keeperシークレットマネージャーを活用しています。認証情報はシステム構築時にプログラムで注入され、実行時ワークフロー中はメモリ内に保持されるため、本番システム上に平文で保存されることはありませんでした。

このアプローチは安全なDevOpsワークフローを効果的に支援していましたが、内外を問わず分散したユーザーの全体で対話型の特権セッションを管理するには、安全な特権アクセス管理 (PAM) ソリューションが必要でした。運用範囲の拡大に伴い、グローバルチームや管理外デバイスに対する特権アクセスの付与、監視、取り消しに関する新たな管理体制要件も生じ、経営陣は、状況をしっかり把握できる可視性と厳格なアクセス制御、さらにグローバルな運用に合わせて安全に拡張できるソリューションを求めていました。

「個人のマシンから作業を行う際の最適なセキュリティ管理方法をどうするかという懸案事項を抱えていました。私たちはパートナーを信頼していますが、『信頼せよ、されど確認せよ』の文化へと転換する必要がありました。」

フランソワ・ルエル氏 | DrillDocs 共同創業者兼  
最高科学責任者

## Keeperのソリューション

DrillDocsは、包括的なゼロトラスト・ゼロ知識PAMプラットフォームであるKeeperPAMを導入し、一元化された特権アクセス管理、認証情報の保護、さらにエンジニアリングのワークフローを妨げることなく制御されたリモートセッション管理を実現しました。

**即座に価値が現れる迅速なデプロイメント** - Keeperの導入プロセスはシンプルでわかりやすく、社内エンジニアと外部サポートチームの両方が安全なアクセスモデルにシームレスに移行できます。Keeperは導入を成功させるために、広範にわたる**製品資料**、導入支援リソース、エンドユーザー向けガイドを提供して支援します。ユーザー採用率を高めるため役立つ、詳細な**製品ガイドとトレーニング動画**も用意されています。

「トライアルを開始することを決めたその日に2時間のセッションを行い、すべての準備が完了しました。そこから、すぐにKeeperの使用を開始しました。」

フランソワ・ルエル氏 | DrillDocs 共同創業者兼最高科学責任者

**エンドポイント管理不要の安全な仮想化アクセス** - KeeperPAMは、ゼロトラストゲートウェイを介してWindowsとLinuxの仮想デスクトップにブラウザベースの安全なアクセスを実現します。VPN設置は不要で、個人デバイス側にネットワークを露出させることもありません。接続ツールと管理ツールは安全な仮想環境内に収められているため、特権認証情報はエンドユーザーに公開されません。インフラへのアクセスはすべて一元管理され、暗号化された記録が残ります。これにより、組織はリモート特権セッションの完全な可視性と管理体制を獲得します。

**瞬時のアクセス付与と取り消し** - KeeperPAMを利用すると、管理者は数秒で特権アクセスの付与、変更、取り消しができ、ユーザーのライフサイクル管理を合理化できます。一元化された**ロールベースのアクセス制御**とポリシーの適用により、組織は重要なシステムへのアクセスを即座に許可したり、ロールの変更が必要な時やユーザーの退職時に権限を削除したりすることができます。このリアルタイムのプロビジョニング機能により、管理上の負担と常時アクセスのリスクが解消され、特権アカウントは常に厳密に管理されます。

**認証情報を露出せずに自動デプロイメントを保護** - **Keeperシークレットマネージャー**は、認証情報を露出させたりハードコーディングすることなく自動デプロイメントとシステムアップデートを可能にし、マシン間のアクセスを保護します。ビルドプロセス中、認証情報はプログラムによって取得され、直接メモリに注入されます。認証情報が平文で保存されたり、システム上に残されたりすることがありません。このアプローチにより、自動化の効率を維持しながらシークレットの散逸を回避し、DevOpsのセキュリティを強化します。

「私は毎日何度もボルトを使い、自動デプロイメントと更新にも、Keeperシークレットマネージャーを使用しています。Keeper PAMは、抜群の成果をもたらしています。」

デビッド・モンバーガー氏 | DrillDocs シニアシステムエンジニア

**高水準のセキュリティ** - Keeperは、ゼロトラストおよびゼロ知識のセキュリティアーキテクチャを採用し、情報の保護とデータ漏えいリスクの低減に取り組んでいます。端末レベルでの楕円曲線暗号 (ECC) に加え、ボルト、フォルダ、レコードの各階層で**複数層の暗号化**を適用しています。さらに、量子耐性暗号、多要素認証や生体認証、FIPS 140-3に準拠したAES 256ビット暗号とPBKDF2を組み合わせることで、堅牢なセキュリティ基盤を構築しています。Keeperは**SOC 2およびISO 27001に準拠し、ISO/IEC 27017/27018にも対応**しています。加えて、業界最長のコンプライアンス実績を誇ります。加えて、FedRAMPおよびGovRAMP High (高影響レベル) の認可、PCI DSS認証、TrustArcよりプライバシー認証も取得しています。



## 組織への影響

KeeperPAMを導入して以来、DrillDocsは急成長するグローバルスタートアップに求められる機動性を維持しつつ、セキュリティ態勢を大幅に強化しました。管理パスワードの共有を廃止し、現在、特権認証情報は保管庫に保存されてランダム化され、ロールベースのアクセス制御で管理されています。また、私有ITデバイスの業務利用 (BYOD) モデルに関わる可視性の課題や運用負担も解消されました。

「Keeperは、DrillDocsのデジタルセキュリティ文化を大きく変革させました。もう安全でない場所に認証情報を保管することはありません。」

フランソワ・ルエル氏 | DrillDocs 共同創業者兼最高科学責任者

**BYODのリモートワーカー全体のリスクを軽減 -**  
KeeperPAMは、特権アクセスを安全な仮想環境内に隔離するため、BYODで業務するDrillDocsのリモートワーカー全体のリスクが軽減されます。エンジニアや外部パートナーは、認証情報を露出させたり、機密性の高いアクセスツールを個人のデバイスに直接インストールしたりすることなく、世界中のどこからでも本番環境のシステムに安全に接続できます。

**ロールベースの最小権限アクセス -** KeeperPAMにより、DrillDocsは個別に認証情報を配布せずに、ロールベースでアクセスを構成しています。顧客のエンジニアチーム、開発者、外部パートナーには、それぞれの職務に必要なシステムのみアクセス権が許可されます。このアプローチにより、管理上の負担を大幅に減らしつつ、特権アクセスが常に厳格に制御されます。

「従業員のオンボーディングやオフボーディングが、今ではずっと簡単かつ迅速になりました。誰かが何か新しい情報にアクセスする必要がある時も、ほんの数秒でアクセスできます。」

メルト・ゲベチ氏 | DrillDocs 最高技術責任者

**ユーザーのオンボーディングおよびオフボーディングを効率化 -** KeeperPAMは、オンボーディングとオフボーディングのプロセスを革新し、効率を向上させ、管理工数を削減しました。アクセスの許可と取り消しを数秒で行えるため、経営陣は必要な業務に即時対応できます。

**特権セッションの完全な可視性 -** KeeperPAMのセッション録画とアクティビティログ機能により、特権アクティビティの可視性が深まりました。異常な行動が発生した場合、経営陣はセッションデータを確認して何が起こったのかを正確に把握し、適切に対応できます。KeeperAIを利用すれば、高リスクセッションの自動終了や、暗号化されたアクティビティサマリーの生成が可能です。この可視性レベルの高さから、世界中に分散したエンジニアや外部のサポートチームを含む組織のセキュリティ体制が支えられ、本番環境へのアクセス状況や利用実態について、経営陣が明確に把握できます。

**コンプライアンス対応を支える標準装備のガバナンス -** DrillDocsがSOC 2準拠に向けて取り組む中、KeeperPAMはアクセス制御要件を満たすための強固な基盤を提供しています。一元化された認証情報管理、ロールベースの最小権限の徹底、セッション監査機能によって、会社の広範なガバナンスおよびセキュリティ目標を支えます。

現在、DrillDocsは大企業並みのセキュリティ成熟度で運用しています。エンジニアは世界中どこからでも、あらゆるデバイスで、特権認証情報を露出することなく安全に接続できます。アクセスは構造化され、監視され、一元管理されています。オンボーディングは即時、オフボーディングはポリシーベースで迅速です。外部パートナーは安全に貢献できています。KeeperPAMを導入することで、同社の成長を定義する「スピード」と「イノベーション」を維持しながら、安全に拡大していける体制を整えています。



## KeeperPAM

KeeperPAMは、サーバー、ウェブアプリ、データベース、ワークロードなどの重要なリソースへのアクセスを保護・管理する次世代の特権アクセス管理プラットフォーム (PAM) です。ゼロトラストおよびゼロ知識のセキュリティアーキテクチャを基盤としており、特権アカウントの保護、最小権限の徹底、リモートインフラの安全な運用、コンプライアンス要件への対応を支援します。高い操作性と導入のしやすさを備えている点も特長です。

Keeperは、企業規模を問わず直感的に使い、導入もしやすい設計となっています。KeeperPAMでは、ゼロトラスト型のゲートウェイサービスを通じて各環境へアクセスする仕組みを採用しており、ファイアウォールの設定変更やインバウンド通信の追加は不要です。また、リモートセッション機能により、利用者が認証情報やSSHキーに直接触れることはありません。シークレットはエンドポイントから完全に分離されます。リソースへのアクセスに時間制限を設け、ポリシーを適用することができ、アクセス終了後には認証情報が自動的にローテーションされます。これにより、認証情報を開示することなく、ジャストインタイム (JIT) での安全なアクセス管理が可能となります。

Keeperは、組織の規模を問わず利用できるよう設計されています。KeeperPAMでは、複数のクラウドプロバイダー、オンプレミスのワークロード、顧客環境にまたがるアクセス管理を、単一のユーザーインターフェース (UI) に集約しています。これにより、マルチクラウド環境全体を一元的に管理できます。

### KeeperPAMのビジネス活用事例

- すべての特権アカウントを管理・監視
- 認証情報を開示せずにジャストインタイム (JIT) アクセスを実現
- 直感的なUIで開発ツールをひとつのプラットフォームに集約
- クラウド、ハイブリッド、マルチクラウド環境を一元的に管理
- AIによる脅威検知と自動セッション終了に対応し、複数プロトコルのセッションを記録
- パスワードのローテーションを自動化
- すべてのシステムで多要素認証 (MFA) を適用
- ウェブまたはデスクトップアプリからスムーズに導入でき、SCIMによる自動プロビジョニングに対応

### Keeperで組織を保護

使いやすいプラットフォームでKeeperがどのように組織を保護できるのか、詳しく知りたい方は、[営業チームまでお問い合わせください](#)。無料トライアルや、お客様に合わせたデモをご案内します。

## Keeperについて

Keeper Securityは、150以上の国で幅広い企業や利用者を守る、急成長中のサイバーセキュリティソフトウェア企業です。ゼロ知識とゼロトラストを基盤とし、あらゆるIT環境に対応できるセキュリティの先駆けとして知られています。主力製品のKeeperPAM®は、AIを搭載したクラウドネイティブのプラットフォームであり、ユーザーやデバイス、インフラを包括的にサイバー攻撃から保護します。特権アクセス管理 (PAM) の分野では、ガートナー社の「Magic Quadrant (マジック・クアドラント)」において革新性が高く評価されました。Keeperではロールベースのポリシー、最小権限、ジャストインタイムアクセスを組み合わせることで、パスワードやパスキー、インフラのシークレット、リモート接続、エンドポイントを安全に管理しています。世界中の多くの先進的な組織がKeeperを採用している理由については、[KeeperSecurity.com](#)にてご確認ください。

Keeperは、世界各地の企業や利用者から高い信頼を得ています。

## Gartner

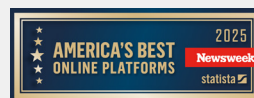
KeeperPAM®、Gartnerの2025年版Magic Quadrant™ (PAM部門) に選出



Cybersecurity  
Excellence Award  
特権アクセス管理



Cyber Defense  
Magazine  
エディターズチョイス - 特権  
アクセス管理 (PAM)



Newsweek  
No.1サイバーセキュリティ  
プラットフォーム



エンタープライズ・マネジメント・アソシエイツ  
KeeperPAM®、優れた製品力で高い評価を獲得